

VISTA 8 ユーザーレポート

日本テレビ放送網株式会社 様

VISTA 8

麹町KスタジオサブをVISTA 8で更新



■ Kスタジオ・サブ

日本テレビ放送網株式会社様は、麹町のKスタジオ設備を更新。音声システムは、VISTA 8を核としたフルデジタル、5.1サラウンド対応仕様として、2006年7月から稼動しています。

株式会社 NTV 映像センター
制作技術局 音声担当
(日本テレビ技術統括局)
今村 公威

ら対談物まで、ありとあらゆる番組（とオペレーター）に対応できる必要がありました。

VISTA8 採用の理由

音声システム構築にあたり、今後10年間以上耐え得る柔軟性・先鋭性と、日々の運用を踏まえたコンサーバティブな面を兼ね備えることを念頭におきました。さらに、様々なオペレーターが使用するスタジオであるため、「放送の安全」確保にも気を配りました。結果、コンソールはVISTA8に決定しました。サラウンドを含めた多種多様な機能がある一方で、大事な「ユーザーインターフェース」が直感的で分かりやすいことが大きな理由です。しかし、最大の決め手はリダンダンシーの搭載でした。「放送の安全」は何

日本テレビKスタジオと、そこに求められる条件
日本テレビの麹町Kスタジオは、汐留新社屋完成後も、同じ麹町のGスタジオとともに、バラエティ番組制作の中核を担うスタジオとして「世界まる見えテレビ特捜部」「笑ってこらえて」などの収録番組制作に使用されています。さらに、汐留本社とはHD非圧縮の光回線で結ばれていて、年末年始など特番時期を中心に生放送への対応も可能となっています。

逆に言いますと、フル・バンドが入る音楽物か





■新Kスタ初運用は今村氏自らがオペレートを担当



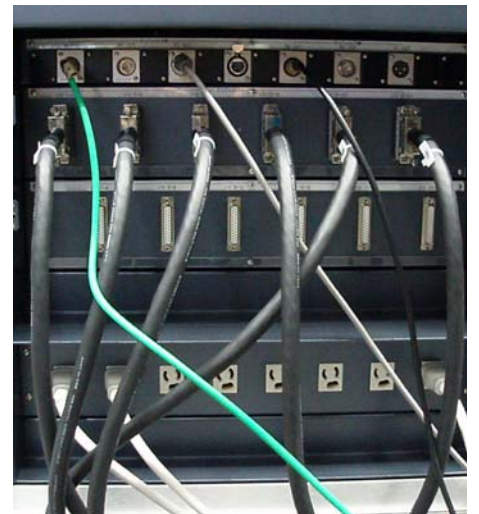
■Ls/Rsサラウンドスピーカーは固定設置



■マシンルーム内のVISTAラック



■NTV仕様のカスタムパネル



■DAWはAES/EBUでVISTAに直結

より（場合によってはクオリティーよりも）優先しますから・・・もちろん、見た目も魅力の1つであったことは確かです。

運用してみると・・・

火入れ式後、ほぼ毎日番組が入っていますが、質問の類がほとんど来ないことは嬉しい「予想外」でした。ユーザーインターフェースが良いためでしょう、少しさわっていただければわかってしまうようです。また、全てのフェーダーからOSCが出せるSTUDERの伝統芸能？は、バラエティー物でトラック分け収録が多いこのスタジオでは大好評でした。個人的には、Strip Setupでフェーダーの並びが「どうにでも」変えられる自由度の高さが気に入っています。

しいて苦言を呈すと、卓の画面上バスアサイン表記にL/R/C/LFE/SL/SRといった名前が付けられない点については早期のバージョンアップを期待します。

最後に

日本テレビでは、来年2月稼働の新207号音声中継車にも、外部への貸し出し運用にフレキシブルに対応することができるよう、このVISTA8を搭載します。柔軟性に富んだこのコンソールを、より厳しい条件の音中車で活躍させるのを楽しみにしています。



■国内最大の62フェーダー・デスク